



## 2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月3日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ  
コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山田 翔  
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308  
四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	6,731	—	949	—	709	—	955	—
2021年12月期第2四半期	5,764	—	791	16.0	1,087	25.5	703	18.8

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 2,704百万円(—%) 2021年12月期第2四半期 721百万円(13.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	23.71	23.68
2021年12月期第2四半期	18.33	18.30

(注) 1. 当社は、2021年12月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更いたしました。これにより、経過期間となる2021年12月期は第2四半期連結累計対象期間を、2021年3月期まで決算期が3月31日であった当社及び連結子会社は2021年4月1日から2021年9月30日、2021年3月期まで決算期が12月31日であった連結子会社は2021年1月1日から2021年6月30日としております。2022年12月期第2四半期連結累計対象期間は2022年1月1日から2022年6月30日までであり、比較対象期間が異なることから対前期増減率の記載は省略しております。

2. 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。なお、収益認識基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従い、2021年3月期第2四半期連結会計期間に対し、新たな会計方針を遡及適用しておりません。これにより、2021年12月期第2四半期と比較対象となる2021年3月期第2四半期の収益認識基準が異なるため、売上高の増減率の記載は省略しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第2四半期	26,824	15,797	57.4	388.95
2021年12月期	25,274	14,937	57.8	349.64

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 15,405百万円 2021年12月期 14,617百万円

(注) 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	5.17	5.17
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	7.46	7.46

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2021年12月期は、決算期変更に伴い、2021年4月1日から2021年12月31日までの9ヶ月間となります。

3. 2021年12月期より決算期変更に伴い、配当基準日が12月31日に変更されました。

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	—	1,420	—	1,690	—	1,360	—	33.73

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

- 第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、記載を省略しております。
- 1株当たり当期純利益は、当第2四半期累計期間の期中平均株式数から自己株式を除いた発行済株式数である40,318,311株を通期平均株式数と仮定して算出しております。
- 当社は、2021年6月24日に開催の第21期定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたため、第22期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更いたしました。つきましては経過期間となる2021年12月期は、第21期まで決算期が3月31日であった当社及び連結子会社は2021年4月1日から2021年12月31日の9ヶ月、第21期まで決算期が12月31日であった連結子会社は2021年1月1日から2021年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としておりますため、対前期増減率の記載は省略しております。
- 現在、新型コロナウイルス感染症拡大による将来の動向を予測することが困難な状況ではありますが、クライアントの業界動向・広告出稿状況及び当社役職員の勤務形態・状況等を鑑み、現時点では当社グループに与える影響は軽微と予測し、2022年12月期の業績予想を算出しております。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や終息時期によって変動する可能性があります。
- 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期2Q	42,003,700株	2021年12月期	42,003,700株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	2,394,931株	2021年12月期	194,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期2Q	40,318,311株	2021年12月期2Q	38,356,086株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

本資料の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。

また、2022年8月3日(水)に機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け決算説明会を開催する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. その他 .....	11
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2021年12月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更いたしました。これにより、経過期間となる2021年12月期第2四半期の連結累計対象期間を、2021年3月期まで決算期が3月31日であった当社及び連結子会社は2021年4月1日から2021年9月30日、2021年3月期まで決算期が12月31日であった連結子会社は2021年1月1日から2021年6月30日としております。2022年12月期第2四半期連結累計対象期間は2022年1月1日から2022年6月30日までであり、比較対象期間が異なることから以下、連結累計期間の業績に関しましては、対前期増減額及び増減率の記載を省略しております。

また、当社グループが扱う事業は、2021年12月期まで主に当社及び国内子会社が当社グループのアドプラットフォームを用いてインターネット広告配信を行う「広告事業」、主に海外子会社が総合広告代理業(エージェンシー事業)としてインターネット広告配信を行う「海外事業」、インターネット広告事業以外の中でも取り扱いが大きい、土業向けポータルサイト等の運営等を行う「メディアコンテンツ事業」の3つを報告セグメントとしておりました。

しかしながら、日本におけるスマートフォンの普及、インターネット広告の急速な増加等に伴い、海外の広告主(クライアント)の日本向け広告配信が増加してきているとともに、インターネット広告の多様化から、日本国内の広告主(クライアント)においても、当社及び当社国内子会社のインターネット広告配信に対し、総合広告代理業(エージェンシー事業)としての期待が高まっております。

このような状況を踏まえ、報告セグメントを日本国内外で区分するよりも、下記の通り、当社グループのアドプラットフォームを用いてインターネット広告配信を行う「アドプラットフォーム事業」、総合広告代理業である「エージェンシー事業」と区分した方が、適切な経営資源の配分の決定及び業績の評価を資すると判断したため、2022年12月期の期首より報告セグメントを変更いたしております。

「アドプラットフォーム事業」、「エージェンシー事業」の事業内容に関しましては「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 [報告セグメント別業績] ①②」をご参照ください。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間のセグメント区分に基づき組替えたものを開示しております。

当第2四半期連結累計期間(2022年1月1日から2022年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、売上高6,731,965千円、営業利益949,695千円、経常利益709,747千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は955,915千円となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間のセグメント区分に基づき組替えたものを開示しております。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間 (2021年12月期)	当第2四半期 連結累計期間 (2022年12月期)	増減額 (増減率)
売 上 高	5,764,903	6,731,965	— (—)
営 業 利 益	791,352	949,695	— (—)
経 常 利 益	1,087,372	709,747	— (—)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	703,068	955,915	— (—)

売上高は、先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」の認知度向上等により、新たなジャンルの広告主(クライアント)を獲得しており、広告需要が拡大いたしました。また、EC事業を展開する一部の広告主(クライアント)や、ゲームアプリを提供する一部の広告主(クライアント)からの広告需要が減少したものの、マンガアプリを提供する広告主(クライアント)や、カードローン及びクレジットカード等の金融関連の広告主(クライアント)からの広告需要が大幅に伸びました。更に、博報堂DYグループとの協業においても、新たなジャンルの広告主(クライアント)からの広告需要が高まっております。海外においては、新型コロナウイルス感染症再拡大による一部主要都市の封鎖や経済活動の制限等の影響により中国クライアントの広告需要が減少したものの、台湾におけるブランド広告の需要が増加いたしました。以上のようなことから、売上高は6,731,965千円となりました。

営業利益は、売上高及び売上総利益の増加に伴い、949,695千円、経常利益は、営業利益が増加したものの、貸倒引当金繰入額を計上したこと等により709,747千円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、経常利益が減少したものの、投資有価証券売却益の計上等により1,699,750千円となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等を計上したことにより955,915千円となりました。

## [報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前第2四半期 連結累計期間 (2021年12月期)	当第2四半期 連結累計期間 (2022年12月期)	増減額 (増減率)	
外部 売上高	①アドプラットフォーム事業	1,316,487	1,667,535	— (—)	
	②エージェンシー事業	国内	2,867,043	3,024,753	— (—)
		海外	976,116	1,190,112	— (—)
		合計	3,843,159	4,214,866	— (—)
	③その他	605,255	849,563	— (—)	
セグメント利益	①アドプラットフォーム事業	643,306	768,063	— (—)	
	②エージェンシー事業	1,144,237	1,175,862	— (—)	
	③その他	22,219	57,664	— (—)	

- (注)1. 第1四半期連結会計期間の期首より、従来まで「広告事業」、「メディアコンテンツ事業」、「海外事業」、「その他」としておりました報告セグメントを「アドプラットフォーム事業」、「エージェンシー事業」、「その他」に変更いたしました。
2. 当社は、2021年12月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更いたしました。これにより、経過期間となる2021年12月期は第2四半期連結対象期間を、2021年3月期まで決算期が3月31日であった当社及び連結子会社は2021年4月1日から2021年9月30日、2021年3月期まで決算期が12月31日であった連結子会社は2021年1月1日から2021年6月30日としております。2022年12月期第2四半期連結対象期間は2022年1月1日から2022年6月30日までであり、比較対象期間が異なることから対前期増減額及び増減率の記載は省略しております。

## ①アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業は、スマートフォン向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」等、当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告の販売及び運用を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」の認知度向上等により、新たなジャンルの広告主(クライアント)を獲得しており、広告需要が拡大いたしました。また、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」においては、EC事業を展開する一部の広告主(クライアント)の広告需要が減少したものの、カードローンやクレジットカード等の金融関連の広告主(クライアント)からの広告需要が大きく伸長したため、売上高は1,667,535千円、セグメント利益は768,063千円となりました。

## ②エージェンシー事業

エージェンシー事業は、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援のため、アドプラットフォーム事業で提供している当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告に限らず、広告商品及び付随するサービスの代理販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、ゲームアプリを提供する一部の広告主(クライアント)からの広告需要が減少したものの、博報堂DYグループとの協業により新たなジャンルの広告主(クライアント)、QRコード決済を提供する広告主(クライアント)、及びマンガアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要が大幅に増加いたしました。海外においては、新型コロナウイルス感染症再拡大による一部主要都市の封鎖や経済活動の制限により中国クライアントからの広告需要の減少があったものの、台湾におけるブランド広告の需要が増加し、売上高は4,214,866千円、セグメント利益は1,175,862千円となりました。

## ③その他

その他は、士業向けのポータルサイトの運営や、インフルエンサーマーケティングの企画運営等の新規事業等により構成されています。

当第2四半期連結累計期間は、士業向けポータルサイトの運営において既存顧客に対する予算増加の施策や他分野の提案等を積極的に行い成果が得られました。また、インフルエンサーマーケティングの企画運営においてはライブイベントの実施による売上の拡大等により、売上高は849,563千円、セグメント利益は57,664千円となりました。

(2)財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2021年12月期)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年12月期)	増減額 (増減率)
資 産 合 計	25,274,114	26,824,925	1,550,811 (6.1%)
負 債 合 計	10,336,179	11,027,026	690,846 (6.7%)
純 資 産 合 計	14,937,934	15,797,899	859,964 (5.8%)

[資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より728,852千円減少し21,033,475千円となりました。主な要因は、現金及び預金が2,611,860千円増加したものの、預け金が2,837,087千円、受取手形、売掛金及び契約資産が462,253千円それぞれ減少したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より2,279,663千円増加し5,791,449千円となりました。主な要因は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が2,235,342千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より10,462千円増加し10,181,544千円となりました。主な要因は、買掛金が327,965千円減少したものの、未払法人税等が471,832千円増加したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より680,384千円増加し845,481千円となりました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が649,292千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より859,964千円増加し15,797,899千円となりました。主な要因は、自己株式の取得により自己株式が1,641,910千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が1,413,066千円、利益剰余金が732,525千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、12,533,987千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,445,899千円の収入(前年同期は418,189千円の支出)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,699,750千円に対して、投資有価証券売却益の調整1,010,719千円、前渡金の増加250,994千円、法人税等の支払額197,443千円による支出があったものの、売上債権の減少731,857千円、貸倒引当金の増加338,368千円、減価償却費103,794千円による収入があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、746,304千円の収入(前年同期は137,800千円の収入)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却1,141,011千円による収入があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,861,607千円の支出(前年同期は309,838千円の支出)となりました。主な要因は、自己株式の取得1,644,209千円による支出があったことによるものであります。

## (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが主に手掛けているインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われれます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携を行うことで、取引の拡大と売上増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の当社グループにおきましては、主に先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」を利用した広告配信及びマンガアプリを展開する広告主(クライアント)やQRコード決済アプリを展開する広告主(クライアント)等からの需要が拡大しております。しかしながら、一部の海外地域においては、新型コロナウイルスの再拡大による経済活動の制限等により、地域・業種によっては、オフラインイベントの中止や広告の出稿を差し控える動きが見られています。

現時点では新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響は上記のとおりであります。感染の拡大や終息時期によって著しく変化することが想定されるため、今後も動向に注視してまいります。

これらの状況を踏まえ、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の売上高は、13,800百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加により1,420百万円を見込んでおり、経常利益1,690百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,360百万円を見込んでおります。

## (剰余金の配当予想)

当社グループは、株主への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけております。2022年12月期の普通配当におきましては、当社の2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績見通し、株主の皆様への継続的な利益還元及び今後における企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保を勘案した結果、親会社株主に帰属する当期純利益の22%の配当性向もしくは1株当たり配当金2円80銭と同額のどちらか高い方を配当の目処として期末配当を実施する方針といたしております。本方針より、現時点の業績予想及び配当性向22%から算出される1株当たり配当金7円46銭が2円80銭よりも高いため、現時点の普通配当予想は7円46銭といたします。

なお、普通配当金額は配当性向22%に基づいて算出しておりますので、業績の結果により配当金額が変動いたします。また、新株予約権の権利行使等により株式数が増減した場合には、発行済株式数の変動に従い1株当たり配当金額は変更されます。

当社の配当方針につきましては、2021年12月期から2023年12月期の3ヶ年の普通配当において、第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向(当期は第23期であるため親会社株主に帰属する当期純利益22%)より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり配当金2円70銭を基準に每期10銭を増配した1株当たりの配当金のいずれか高い方を目途としております。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに第2四半期連結累計期間における連結業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,916,750	12,528,611
預け金	2,842,463	5,376
受取手形、売掛金及び契約資産	8,019,903	7,557,650
棚卸資産	58,616	27,420
その他	998,873	1,004,331
貸倒引当金	△74,279	△89,913
流動資産合計	21,762,328	21,033,475
固定資産		
有形固定資産	316,759	436,922
無形固定資産		
のれん	77,874	74,628
その他	304,842	266,469
無形固定資産合計	382,716	341,097
投資その他の資産		
投資有価証券	2,327,307	4,562,650
その他	645,727	955,084
貸倒引当金	△160,725	△504,305
投資その他の資産合計	2,812,308	5,013,429
固定資産合計	3,511,785	5,791,449
資産合計	25,274,114	26,824,925
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,942,962	7,614,996
未払法人税等	247,990	719,823
役員賞与引当金	39,000	—
賞与引当金	175,219	—
その他	1,765,909	1,846,724
流動負債合計	10,171,082	10,181,544
固定負債		
退職給付に係る負債	—	21,909
その他	165,097	823,571
固定負債合計	165,097	845,481
負債合計	10,336,179	11,027,026
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,716,255	1,716,255
資本剰余金	6,947,045	6,947,045
利益剰余金	5,366,041	6,098,566
自己株式	△167,289	△1,809,199
株主資本合計	13,862,052	12,952,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379,509	1,792,575
為替換算調整勘定	376,398	649,152
退職給付に係る調整累計額	—	11,522
その他の包括利益累計額合計	755,907	2,453,249
新株予約権	41,865	45,228
非支配株主持分	278,109	346,752
純資産合計	14,937,934	15,797,899
負債純資産合計	25,274,114	26,824,925



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)
売上高	5,764,903	6,731,965
売上原価	1,118,343	1,338,915
売上総利益	4,646,559	5,393,049
販売費及び一般管理費	3,855,207	4,443,354
営業利益	791,352	949,695
営業外収益		
受取利息	1,137	3,318
受取配当金	4,724	2,241
為替差益	28,633	—
持分法による投資利益	104,486	63,876
投資事業組合運用益	151,541	21,670
消費税等免除益	1,714	567
その他	10,603	10,368
営業外収益合計	302,841	102,043
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	6,481	334,258
為替差損	—	307
その他	341	7,425
営業外費用合計	6,822	341,990
経常利益	1,087,372	709,747
特別利益		
投資有価証券売却益	39,691	1,087,425
特別利益合計	39,691	1,087,425
特別損失		
固定資産売却損	—	1,159
投資有価証券評価損	90,214	76,706
在外連結子会社リストラクチャリング費用	5,955	19,558
和解金	11,722	—
特別損失合計	107,892	97,423
税金等調整前四半期純利益	1,019,170	1,699,750
法人税、住民税及び事業税	256,990	670,947
法人税等調整額	31,970	27,453
法人税等合計	288,961	698,400
四半期純利益	730,208	1,001,349
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,140	45,434
親会社株主に帰属する四半期純利益	703,068	955,915

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	730,208	1,001,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145,949	1,409,871
為替換算調整勘定	112,910	252,443
退職給付に係る調整額	—	937
持分法適用会社に対する持分相当額	24,133	39,733
その他の包括利益合計	△8,904	1,702,986
四半期包括利益	721,304	2,704,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	679,798	2,635,692
非支配株主に係る四半期包括利益	41,505	68,643

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,019,170	1,699,750
減価償却費	88,283	103,794
のれん償却額	4,298	9,418
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,753	338,368
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△39,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,009	△175,219
受取利息及び受取配当金	△5,861	△5,560
支払利息	—	24
投資事業組合運用損益(△は益)	△151,541	△21,670
持分法による投資損益(△は益)	△104,486	△63,876
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	50,523	△1,010,719
為替差損益(△は益)	25,342	307
在外連結子会社リストラクチャリング費用	5,955	19,558
売上債権の増減額(△は増加)	1,846,804	731,857
前渡金の増減額(△は増加)	△109,161	△250,994
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,118,962	68,627
前受金の増減額(△は減少)	226,135	△115,800
前払費用の増減額(△は増加)	△111,074	640
未収入金の増減額(△は増加)	△31,824	44,587
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△23,504	126,650
預り金の増減額(△は減少)	△11,427	8,188
未収消費税等の増減額(△は増加)	△31,167	△1,386
未払消費税等の増減額(△は減少)	△480,889	140,295
その他	△4,090	30,770
小計	66,267	1,638,612
利息及び配当金の受取額	5,328	4,415
補助金の受取額	2,080	340
利息の支払額	—	△24
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△491,865	△197,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	△418,189	1,445,899
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△55,658	△171,554
無形固定資産の取得による支出	△29,465	—
無形固定資産の売却による収入	13,517	—
投資有価証券の取得による支出	△173,242	△296,489
投資有価証券の売却による収入	42,090	1,141,011
投資事業組合からの分配による収入	167,333	60,690
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	58,354	—
子会社の清算による収入	119,717	—
貸付けによる支出	△2,700	△800
貸付金の回収による収入	18,088	3,860
その他	△20,237	9,585
投資活動によるキャッシュ・フロー	137,800	746,304
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△1,309
新株予約権の行使による株式の発行による収入	11,564	—
自己株式の取得による支出	—	△1,644,209
配当金の支払額	△321,403	△216,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309,838	△1,861,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	△325,739	△612,148
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△915,967	△281,551
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	56,324
現金及び現金同等物の期首残高	9,944,909	12,759,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,028,942	12,533,987

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年12月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,200,431株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,641,910千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,809,199千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	アドブラット フォーム事業	エージェンシ ー事業	計				
売上高							
国内	1,315,880	2,867,043	4,182,924	605,255	4,788,179	—	4,788,179
海外	607	976,116	976,723	—	976,723	—	976,723
顧客との契約から生じる収益	1,316,487	3,843,159	5,159,647	605,255	5,764,903	—	5,764,903
外部顧客に対する売上高	1,316,487	3,843,159	5,159,647	605,255	5,764,903	—	5,764,903
セグメント間の内部売上高又 は振替高	501,933	10,281	512,214	87,472	599,687	△599,687	—
計	1,818,421	3,853,441	5,671,862	692,728	6,364,590	△599,687	5,764,903
セグメント利益	643,306	1,144,237	1,787,543	22,219	1,809,762	△1,018,409	791,352

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,018,409千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	アドプラット フォーム事業	エージェンシ ー事業	計				
売上高							
国内	1,667,535	3,024,753	4,692,289	849,563	5,541,852	—	5,541,852
海外	—	1,190,112	1,190,112	—	1,190,112	—	1,190,112
顧客との契約から生じる収益	1,667,535	4,214,866	5,882,401	849,563	6,731,965	—	6,731,965
外部顧客に対する売上高	1,667,535	4,214,866	5,882,401	849,563	6,731,965	—	6,731,965
セグメント間の内部売上高又は振替高	466,877	5,509	472,387	86,834	559,222	△559,222	—
計	2,134,413	4,220,375	6,354,789	936,398	7,291,187	△559,222	6,731,965
セグメント利益	768,063	1,175,862	1,943,926	57,664	2,001,590	△1,051,895	949,695

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,051,895千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループが扱う事業は、主に当社及び国内子会社が当社グループのアドプラットフォームを用いてインターネット広告配信を行う「広告事業」、主に海外子会社が総合広告代理業(エージェンシー事業)としてインターネット広告配信を行う「海外事業」、インターネット広告事業以外の中でも取り扱いが大きい、士業向けポータルサイト等の運営等を行う「メディアコンテンツ事業」の3つを報告セグメントとしておりました。

しかしながら、日本におけるスマートフォンの普及、インターネット広告の急速な増加等に伴い、海外の広告主(クライアント)の日本向け広告配信が増加してきているとともに、インターネット広告の多様化から、日本国内の広告主(クライアント)においても、当社及び当社国内子会社のインターネット広告配信に対し、総合広告代理業(エージェンシー事業)としての期待が大きくなっております。

このような状況を踏まえ、報告セグメントを日本国内外で区分するよりも、下記の通り、当社グループのアドプラットフォームを用いてインターネット広告配信を行う「アドプラットフォーム事業」、総合広告代理業である「エージェンシー事業」と区分した方が、適切な経営資源の配分の決定及び業績の評価に資すると判断いたしました。

## ①アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業は、スマートフォン向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」等、当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告の販売及び運用を行っております。

## ②エージェンシー事業

エージェンシー事業は、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援のため、アドプラットフォーム事業で提供している当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告に限らず、広告商品及び付随するサービスの代理販売を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間のセグメント区分に基づき組替えたものを開示しております。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。